

事務事業調書

平成27年度

事業No	597	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	近藤一誠
						決裁者	稲垣広治
事務事業名	農業集落排水排水設備確認事業				事業種別	施設整備	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進				予算科目(会計)		農業集落排水事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-5-10			
					総合計画以外の計画		安城市環境基本計画			
					関連する総合計画の施策					
					性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	下水道法第１０条（排水設備の設置等）								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	一部委託		委託先		民間企業					
実施期間	開始	平成11年度		経過	16年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		農業集落排水施設に接続を希望する市民が			~になる		接続することにより、良好な環境の中で生活できるようになる。		
事務事業の内容	地域に農業集落排水施設が整備されても、生活排水等を集落排水施設に流入させる排水設備が完備されなければ、その役割を果たすことができません。よって、排水設備の工事内容について、事前に法令等に適合しているかどうか確認し、公共ます等の設置工事を排水設備指定工事店に依頼して集落排水本管への接続を行います。また、接続後に計画どおり施工され、雨水等の誤接続が無いかどうか検査を行います。									
改善・対策の履歴	なし									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,025	4,151	5,189	5,246	5,689
財源計	4,836	3,962	5,000	5,057	5,500
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	4,836	5,000	5,057	5,500
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)	189 (0.03)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	排水設備等確認申請事務	見込	10.00	10.00	15.00	10.00
			実績	16.00	16.00	22.00	
	指標名 (単位)	全検査件数(件)	活動の総事業費 (千円)	3,589	4,151	5,246	
			活動にかかるコスト (千円)	224.31	259.44	238.45	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移									
成果1	指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	農業集落排水区域の下水道水洗化人口(人)				目標	1,860.00	1,870.00	1,870.00	1,870.00
					実績	1,893.00	1,862.00	1,850.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	未達成	
成果2					目標				
					実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	①悪臭などのない清潔で快適な暮らしの実現ができました。 ②河川・湖沼の水質の改善ができました。 ③浄化槽（フローポンプ）の廃止による消費電力の削減ができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	農業集落排水区域内の未接続及び開発者からの排水設備等確認申請及び公共ます設置申請書に基づき、内容の審査、工事の発注、工事の完了検査を実施しました。
成果	排水設備等確認申請書及び公共ます設置申請書に基づき、宅内からの集落排水への接続工事が完了し、接続人口が増えました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
排水設備等確認申請書の受付から、確認通知までの書類審査等の事務処理を迅速に実施します。 指定工事店に対し、排水設備工事施工上の知識・技術のより一層の向上に努めるよう指導します。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	排水設備等工事は、法令等に適合するよう施行しなければならないため、引き続き指定工事店への指導を実施します。

事務事業調書

平成27年度

事業No	598	課	下水道管理課	係	排水設備係	起案者	神谷征裕
						決裁者	稲垣広治
事務事業名	農業集落排水雨水貯留施設設置促進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 2 接続促進				予算科目(会計)		農業集落排水事業特別会計			
					予算科目(款・項・目)		5-5-10			
					総合計画以外の計画		安城市環境基本計画			
					関連する総合計画の施策		3-2-1-3-2			
					性質区分		特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	安城市雨水貯留浸透施設設置補助金交付要綱								
法定受託事務	無									
公約・議会答弁	無									
陳情・市民要望	無									
実施方法	直営		委託先							
実施期間	開始	平成11年度		経過	16年目		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		集落排水施設に接続する市民が			～になる		雨水の流出抑制、利用等を図り、自然環境の保全等に寄与する。		
事務事業の内容	自然の恵みである雨水の有効利用と良好な水環境を図るため、下水道へ接続することにより不要となる浄化槽を雨水貯留施設へ転用する工事費を補助する事業です。									
改善・対策の履歴	特にありません。									

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	0	0	213	0	213
財源計	0	0	150	0	150
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	150	0	150
	一般財源	0	0	0	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	0 (0.00)	0 (0.00)	63 (0.01)	0 (0.00)	63 (0.01)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	申請の受付及び審査	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	0.00	0.00	0.00	
	指標名 (単位)	申請件数(件)	活動の総事業費 (千円)	0	0	0	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	0.00	0.00	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移								
成果1	指標名(単位)			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	農業集落排水雨水貯留施設の設置件数(件)			目標	1.00	2.00	2.00	2.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度		目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度		目標成果指標値		達成状況			

5 成果1、2以外の成果							
成果	雨水貯留施設の設置は、ありませんでした。						

6 各活動にかかるコストと成果の分析							
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等							
活動コスト	雨水貯留施設の設置は、ありませんでした。						
成果	雨水貯留施設の設置は、ありませんでした。						

7 所属長の改善案							
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案							
今後も、機会あるごとに市民や排水設備指定工事店に説明し、PRに努めます。							

8 方向性							
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性							
維持・継続		下水道への接続に伴い不要となる浄化槽を雨水貯留施設に転用することにより、ゴミを減らすことができ、また水道料の節約ができます。また、河川への雨水の流出抑制を図ることができます。これらの観点から、今後も広く市民にPRに努めます。					

事務事業調書

平成27年度

事業No	606	課	下水道建設課	係	施設管理係	起案者	酒井雄一
						決裁者	石原隆義
事務事業名	福釜東部浄化センター運転事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	1 安全で循環型社会を築く環境づくり 3 水循環 2 水質浄化 1 下水道 1 下水道整備				予算科目(会計)		農業集落排水事業特別会計	
					予算科目(款・項・目)		5-5-10	
					総合計画以外の計画			
					関連する総合計画の施策			
					性質区分	市の内部事務事業		
根拠法令	有	浄化槽法第8条						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託		委託先		民間企業			
実施期間	開始	平成11年度		経過	16年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		農業集落排水施設を利用する地域住民が			~になる		安心・安全・快適な下水道サービスを受けられる。
事務事業の内容	管路・処理場等の下水道施設を効率的に運用し、機能を十分に発揮させるとともに、その機能を保持し、延命化を図ります。そのために総合的な維持管理計画を策定し、計画的な維持管理を実施します。							
改善・対策の履歴	・平成18年度から一部の施設管理で長期契約の実施をし、金額が抑えられ、又、安定した管理ができるように改善しました。 ・平成25年度から節電対策として、流量調整槽の攪拌ポンプ運転時間の見直しを行い、コスト縮減に努めました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	26,944	26,167	29,821	29,828	36,070
財源計	23,479	25,159	28,498	28,505	34,747
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	19,038	3,712	8,518	6,271
	一般財源	4,441	21,447	19,980	22,234
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,465 (0.55)	1,008 (0.16)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)	1,323 (0.21)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	運転・監視活動	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	需用費・役務費(式)	活動の総事業費(千円)	7,233	7,103	7,983	
			活動にかかるコスト(千円)	7,233.00	7,103.00	7,983.00	
活動2	活動名 (活動内容)	点検活動	見込	6.00	0.00	6.00	3.00
			実績	6.00	6.00	3.00	
	指標名 (単位)	委託業務(件)	活動の総事業費(千円)	12,688	11,341	12,306	
			活動にかかるコスト(千円)	2,114.67	1,890.17	4,102.00	
活動3	活動名 (活動内容)	修繕・補修活動	見込	5.00	0.00	5.00	6.00
			実績	5.00	5.00	6.00	
	指標名 (単位)	修繕・工事請負(件)	活動の総事業費(千円)	7,023	7,723	9,539	
			活動にかかるコスト(千円)	1,404.60	1,544.60	1,589.83	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	管路損傷事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	処理場・マンホールポンプ事故件数(件)			目標	0.00	0.00	0.00	0.00
				実績	0.00	0.00	0.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	- 適切な維持管理により事故なく管理できました。 - 異常のある設備等の修繕を適時適切に行い、放流水の水質は年間を通じ法令等で定める環境基準、排水基準を満足することができました。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	- 処理場の維持管理を長期契約(3年)に変更したことにより、コスト縮減ができました。 - 機械機器修繕は、計画的に経済的な施設管理を行いました。 - ポンプの効率稼働による節電で、コスト縮減ができました。
成果	- 定期的な安全点検及び運転業務により、事故なく管理できました。 - 汚泥の引扱時は、管理者の立会いにより適切な時期に処理しました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
適正な管理の中で更なるコスト縮減をするために委託業務内容の精査及び現状にあった修繕計画を進めます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	設備の現状、耐用年数、更新コストを総合的に精査し、効率の良い修繕計画を進めて行きます。